

支出編 性質別(一般会計予算)

支出(歳出)を別の視点から見るができます。目的別の経費を性質ごとにまとめることで、支出の特徴を捉えることができます。

那覇市の一般会計予算(性質別)
(単位:千円)

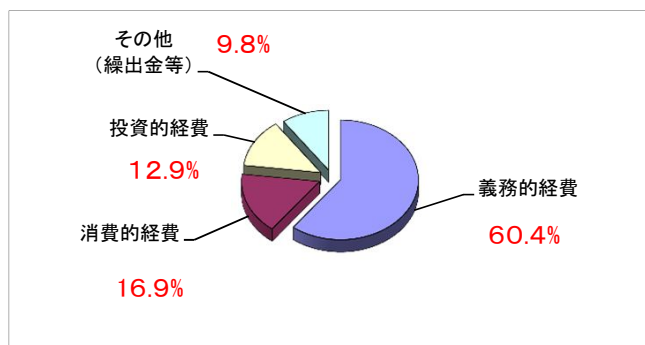
人件費	18,478,248	義務的経費	義務的経費 人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらの費用は、毎年必ず支出しなければなりません。 ・人件費…職員の給料などにかかる費用です。 ・扶助費…生活保護費、障がい者支援費などの福祉や医療にかかる費用です。 ・公債費…過去に借り入れた借金(収入の部の「市債」)の返済にかかる費用です。
扶助費	48,596,120		
公債費	14,144,976		
小計	81,219,344		

物件費	13,219,020	消費的経費	消費的経費 後年度に形を残さない性質の費用です。 ・物件費…光熱水費、消耗品費、通信運搬費などです。 ・維持補修費…施設の維持管理のための費用です。 ・補助費等…一部事務組合などに対する負担金などです。
維持補修費	433,463		
補助費等	8,591,646		
小計	22,244,129		

普通建設事業費	17,761,235	投資的経費	投資的経費 幼稚園、小学校・中学校の建て替えや大規模な改築、市営住宅の建て替え、道路や公園の整備・建設など、都市基盤の整備にかかる費用です。
単独	2,483,085		
補助	15,278,150		
災害復旧事業費	4		
単独	0		
補助	4		
小計	17,761,239		

積立金	413,403	その他の経費	その他の経費 その他の経費には、上記以外の経費を含めています。 ・積立金は、各種基金への積立です。 ・繰出金は、特別会計予算などへの繰出です。 ・予備費は、緊急に支出を必要とした場合のために備えています。
投資及び出資金	87,681		
貸付金	722,001		
繰出金	11,952,203		
予備費	70,000		
小計	13,245,288		

合計	134,470,000
----	-------------



那覇市の支出(歳出)予算を家計簿に例えてみました！

収入(歳入)の家計簿は、p6に記載しています。

なは家の家計簿

(1年間の支出状況)

支出項目	金額(万円)
食費 (人件費)	92
医療費 (扶助費)	243
光熱水費・通信費、その他 の支出(物件費など)	118
家の増改築 (投資的経費)	89
子どもへの仕送り (特別会計などへの繰出 金)	60
ローン返済 (公債費)	71
合計	672

支出についても、那覇市の一般会計予算の支出(歳出)の性質別を「なは家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな支出があり、普通の家庭と多少異なりますが、2万分の1に置き換えてつくってみました。)

なは家の家計簿(支出)の特徴

どうしても支払わねばならない食費、医療費及びローン返済の占める割合が、全支出の60.4%もあります。

子どもへの仕送りもあるなかで、古くなった家の修繕も行わなければなりません。

子ども達には、独立してがんばってもらいたいと考えていますが、なかなかうまくいきません。

来年以降も、医療費と家の修繕は増えていくものと思われる。

食費については、これからも切りつめていく努力をしなければなりません。

Q 前年度と比べてどんな経費が増えて、どんな経費が減っているの？ おしえて！

A 扶助費は増え、公債費や普通建設事業費などが減っています。

- 1.「義務的経費」は、約12億1千万円の増となっています。内訳としては人件費が約9千万円、公債費が約1億5千万円の減となっている一方で、扶助費が生活保護費や障害福祉サービス等給付費などの増により、約14億6千万円の増となっています。
- 2.「消費的経費」は、臨時福祉給付金事業や基幹系業務システム運用維持事業などの減により約5億9千万円の減となっています。
- 3.「投資的経費」は、津波避難ビル建設事業や大名小学校校舎建設事業の完了などにより、約58億3千万円の減となっています。
- 4.「その他の経費」は、那覇市新市民会館建設基金への積立金の減などにより約7億6千万円の減となっています。